

## 令和4年度第2回岡崎市男女共同参画推進及び多様な性の尊重に関する審議会会議録

日 時 令和5年2月8日(水) 午後2時00分  
場 所 岡崎市役所 西庁舎7階 704会議室  
出席委員 打田委千弘会長・重原惇子副会長・伊藤智代委員・山本京子委員・  
伊豆原徹也委員・小松恵利子委員・長坂英樹委員  
欠席委員 加藤勝己委員・金谷美和委員・中野渡善樹委員  
事務局 安藤部長・三浦課長・石川副課長・牛田係長・浅野主査・播本主事  
傍聴者 なし

### 次 第

- 1 開会のことば
- 2 新委員紹介
- 3 部長あいさつ
- 4 会長あいさつ
- 5 議題
  - (1) 令和4年度岡崎市男女共同参画推進事業所表彰の選定について
  - (2) 今後の「岡崎市男女共同参画推進事業所表彰」制度について
  - (3) LGBTQに関する事業所取組アンケート結果について
- 6 報告
  - (1) 岡崎市パートナーシップ・ファミリーシップ制度で利用できる行政サービスについて
  - (2) LGBTQ啓発冊子「多様な性のハンドブック」について
- 7 閉会のことば

### 議 事

- 議題(1) 令和4年度岡崎市男女共同参画推進事業所表彰の選定について

資料1—1 岡崎市男女共同参画推進事業所表彰配点表

資料1—2 令和4年岡崎市男女共同参画推進事業所表彰評価表

長坂委員 書面審査以外に現地確認もしていますか。現地確認では、社長や人事課長等と面談をしていますか。

事務局 3社とも現地確認をしております。岡崎通運株式会社の社長、損害保険ジャパン株式会社の支店長と面談しました。公益財団法人岡崎市学校給食協会は理事長との予定が合いませんでしたので、担当者の方と面談いたしました。

長坂委員 岡崎通運株式会社、損害保険ジャパン株式会社は大企業ですし、公益財団法人岡崎市学校給食協会は公的企業であるため、基本的には恵まれていて

取組がしやすいと思います。今の採点項目では大企業と中小企業の加点が同じくらいになるので、もっと地元の中小企業や財務的に弱い企業に加点しやすいよう、採点項目を見直すべきだと思います。

山本委員 基準については、各大項目で「1つは該当すること」が要件となっているので、それほどハードルは高くないと思います。大企業と中小企業の基準が全く同じでなくてもよいとは思いますが、現状から基準を下げてしまうのは制度自体の価値が下がるのではと思います。もし項目の難易度をもう少し簡単にするのであれば、基準を「1つ」ではなく「3つ」にする等、該当項目を増やすべきかと思います。

重原委員 過去どのような事業所が表彰されたのでしょうか。

事務局 表彰制度は平成30年度から始まり、過去4年間で服部工業(株)、(有)佐野花火店、岡崎信用金庫、(株)A. I、葵造園(有)等、様々な事業所を表彰させていただきました。事業所の人員規模により大項目Aの加点で若干の差はございますが、対象事業所は事務局が選出しているのではなく、毎年広く募集を行い、応募された事業所の中から基準をクリアした事業所を表彰しておりますので、事業所規模は大企業から中小企業まで様々です。

会長 ありがとうございます。何かご意見等ございますか。

伊豆原委員 表彰するにあたって女性の比率等の項目がありますが、公益財団法人岡崎市学校給食協会は520人中500人が女性です。男女共同参画という意味合いでは、男性の割合を増やすことも必要だと思うので、そのような点も含めて今後協議していただければと思うのですが、いかがでしょうか。

事務局 ありがとうございます。女性が多い事業所でしたので、現地確認を行う際には男性が働きやすい環境整備をしているかという点についても確認をしました。更衣室は男性の方が小さかったですが、新しい施設でしっかりと整備されていました。

会長 ありがとうございます。他に何かありますでしょうか。

伊藤委員 岡崎通運(株)は、14番の「子育てしやすい環境の整備」の項目でフレックス制度やテレワーク等の柔軟な働き方ができる環境が整備されており、男性の多い職場ですが、子育てしやすい職場環境が整っていることが分かります。

事務局 ありがとうございます。

○ 議題(2) 今後の「岡崎市男女共同参画推進事業所表彰」制度について  
資料2 今後の岡崎市男女共同参画推進事業所表彰制度について

重原委員 入札加点については既に導入されている評価項目があると思いますが、運用方法等は参考にされていますか。

事務局 本市の入札加点となる男女共同参画の項目として、「愛知ファミリーフレ

ンドリー企業登録」「女性の活躍促進宣言又はあいち女性輝きカンパニーの認証」があります。これらに該当する場合、1項目につき0.5点、最大1点の加点となります。これらの制度の運用方法や制度設計を参考に、入札加点となる男女共同参画の項目への追加又は既存の項目との入替等による新制度の構築を考えています。

山本委員 従来の表彰制度自体はよいものだと思いますが、中小企業の認知度は低く、ホームページや広報誌の掲載等、表彰メリットが伝わっていないことから、企業からは応募しようと思わないと言われていました。その点、入札加点という具体的な企業メリットは大変良いと思います。このような改正は、審議も必要ですがなるべく早い時期に改正できるのが望ましいと思います。

重原委員 市では入札案件毎に企業がどのような取組をしていると何点加点されるというお知らせは一緒に出していますか。

事務局 入札案件毎の加点項目の通知等を行わず、一律の評価基準を定め、ホームページ等で公表しています。

重原委員 分かりました。

会長 ありがとうございます。何かご意見等ございますか。

伊豆原委員 入札加点ということで、契約を取るための不正な申請が懸念されますが、その点はどのように考えているか教えてください。

事務局 最初の認証時に当然審査はしますが、認証後の確認が無いまま入札加点が続くのは望ましくないため、一定の期間毎に基準を満たしているかの確認を行います。この定期確認はあいち輝きカンパニー等でも行っていると聞いています。また、認証前の不正対策についても他の認証制度等を参考に今後検討していければと思います。

会長 ありがとうございます。

- 議題(3) LGBTQに関する事業所取組みアンケート結果について
- 資料3 LGBTQに関する事業所取組みアンケート結果

山本委員 アンケートのインターネットと紙の回答割合を教えてください。

事務局 回答数はインターネットが61件、紙が108件です。

会長 今後、事業所等へアンケート調査をする際は、今回ご協力いただいた商工会議所等と、設計から一緒に議論しながら進めると良いと思います。特に先ほどの議題であった表彰の評価項目等、事業所を対象とする市の事業については事業所に近い視点も交えて議論しながら設計した方が効果的だと思います。

- 報告(1) 岡崎市パートナーシップ・ファミリーシップ制度で利用できる行政サービスについて

#### 資料4 岡崎市パートナーシップ・ファミリーシップ制度で利用できる行政サービス

長坂委員 この中で最も調整が大変だった行政サービスは、介護保険の要介護認定でしょうか。また、対象となる行政サービスは今後増やせるでしょうか。

事務局 8番「市営住宅等への申込」が最も時間を要しました。市営住宅に関する条例では申込みができる対象者を「親族」と表記しており、これにパートナーシップ・ファミリーシップ制度の届出者が含まれるかを担当課で判断する必要がありました。このように各課の行政サービスにおいて「家族」や「配偶者」という言葉が誰を指すのか改めて整理をしていただき、必要に応じて条例等の改正をお願いしました。法定サービスでは、対応が難しいものもありますが、特に本市独自のサービスについては、今後も定期的な確認をしながら各担当部署に柔軟な解釈を働きかけていく予定です。

伊豆原委員 事務局の説明でパートナーシップ・ファミリーシップ制度の届出が7組とありましたが、届出者のセクシュアリティの内訳を教えてください。また、岡崎市のパートナーシップ・ファミリーシップ制度の届出者が市営住宅に申込みの場合にもっと簡単に手続きができると思います。

事務局 届出者のセクシュアリティの内訳ですが、プライバシーに配慮し公表しないこととしております。パートナーシップ制度の届出者には、受理証明書とカードを渡しており、市営住宅の申込窓口で提示すればご本人たちの関係性を説明する手間は省けます。

伊豆原委員 ありがとうございます。よくわかりました。

事務局 他に何かご質問はございますか。

重原委員 実際に届出をされた方の感想を差し障りのない範囲で伺いたいです。

事務局 1組目の方からは制度開始を待っていたというお声と、岡崎市に制度ができて嬉しかったという前向きなご意見をいただきました。

重原委員 ありがとうございます。

○ 報告(2) LGBTQ啓発冊子「多様な性のハンドブック」について

資料5 多様な性のハンドブック

山本委員 この冊子は企業への配布用として貰えますか。また、何部くらい作っていますか。

事務局 今年度は500部作成しました。全ての企業様への配布は難しいので、岡崎市のホームページで冊子のデータを掲載し、印刷できるようにしています。なお、使用される場合は、多様性社会推進課への事前連絡をお願いしております。来年度であれば、部数にもよりますが冊子で配布できるのではないかと思います。

山本委員 企業へのPRが必要であれば協力する趣旨でしたので、ホームページから

印刷が可能であれば大丈夫です。

重原委員 関連ですが、来年度は何部くらい増刷しますか。  
事務局 予算議決前ですので、確定的なことは申し上げられませんが、500 部分相当を予算計上しております。

重原委員 大学生に配れたらと思います。  
事務局 先ほどの事務局の説明に補足します。事前に多様性社会推進課に連絡をお願いしているのは、冊子に研究データをご提供いただいた専門家から、研究データを好き勝手に流用されることを懸念しているのご意見をいただいたためです。そこで、事前に連絡をいただき、責任を持って使用いただけることを確認してから活用いただいています。

重原委員 13 ページの LGBTQ よくある質問に対する答えとして、LGBTQ は 13 人に 1 人の割合といわれており、血液型では AB 型と同じ割合で、一般的にかなり多いとされています。これは、きちんとした団体から出されている数字で、学術的にも問題はないと思いますが、数字の持つ訴求力が強いため、その点を監修された方が気にされているのでしょうか。

事務局 ご意見があったのは、8 ページの LGBT とメンタルヘルスの部分の円グラフになります。これは、学校生活におけるいじめ被害経験の割合をまとめたもので、今回特別に掲載許可をいただいております。そのため、事務局が責任を持って提供できる範囲にとどめておきたいというのが希望ですが、ホームページにデータを掲載しているため、但し書きを書くことでご意向を反映しています。

会長 ありがとうございます。使い方は難しいところがあるかもしれませんが、是非ともご活用いただければと思います。なかなか社会は変わらないので、2桁くらい印刷数を増やして小中高全学年に毎年配布する等、若い世代に向けた支援ができればと思います。